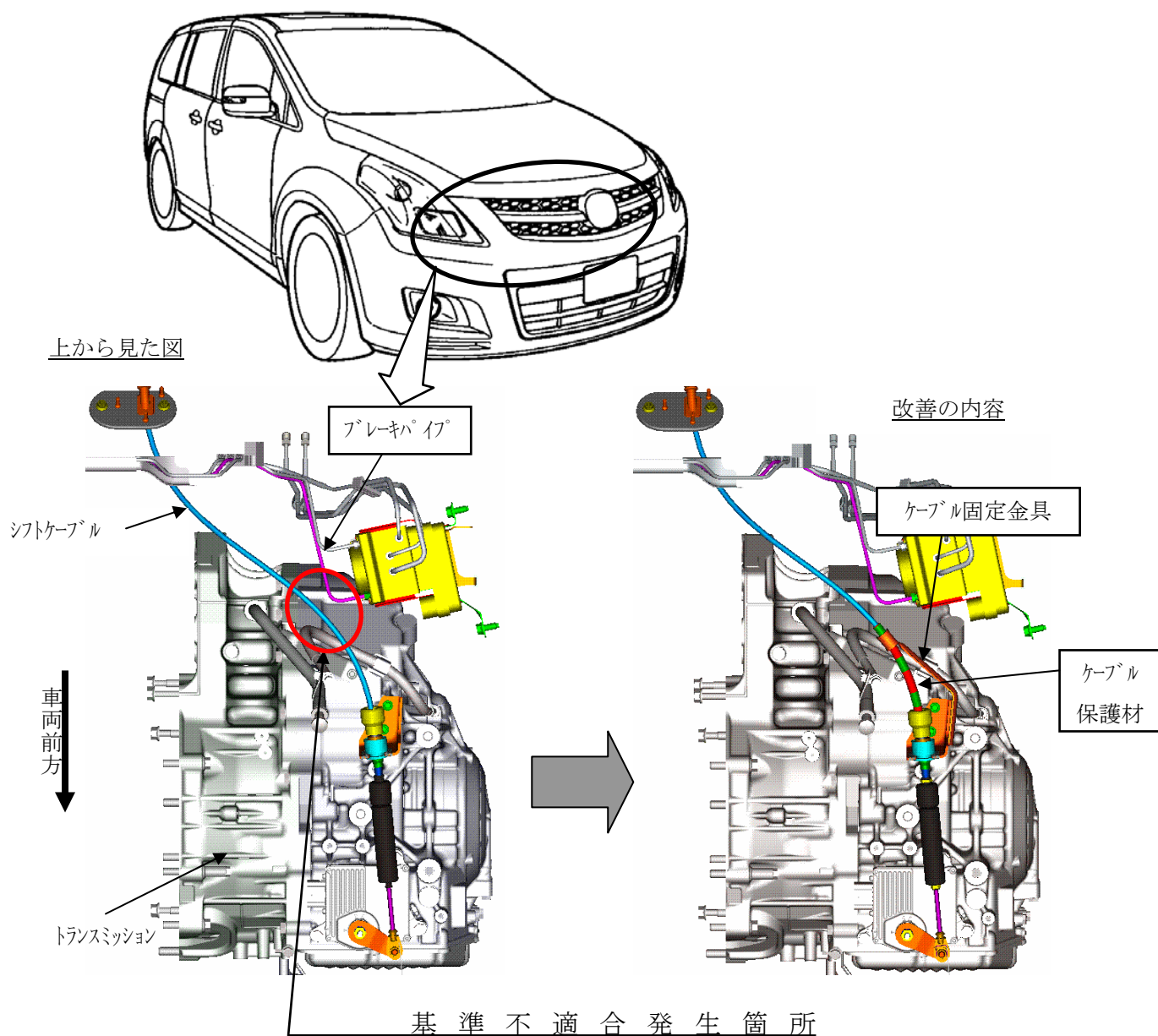


改善箇所説明図 (2)



自動変速機のシフトケーブルの取り回しが不適切なため、走行中の振動等により、ブレーキパイプと干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ブレーキパイプの防錆塗装が剥がれて錆が発生し、最悪の場合、錆が進行した箇所からブレーキ液が漏れ、制動力が低下するおそれがある。

改善の内容

全車両、ブレーキパイプを点検し、防錆塗装が剥れているものは、ブレーキパイプを新品と交換する。また、シフトケーブルに保護材を取り付け、ケーブル固定金具を対策品と交換する。

識別：エンジンルーム内のフューズボックス・カバー裏に黄色ペイントを塗布する。

注) は交換/追加する部品を示す。